

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公開番号】特開2008-256873(P2008-256873A)
 【公開日】平成20年10月23日(2008.10.23)
 【年通号数】公開・登録公報2008-042
 【出願番号】特願2007-97890(P2007-97890)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 27/62 (2006.01)

H 0 4 N 1/10 (2006.01)

H 0 4 N 1/107 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 27/62

H 0 4 N 1/10

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月1日(2010.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シートが載置される載置台と、前記載置台に載置されたシートを上方より押える開閉自在なシート押圧部とを備え、前記シート押圧部を開放して前記載置台にシートを載置した後、前記シート押圧部を閉じてシートを上方より押えた状態でシートの画像を読み取る画像読取装置において、

前記シート押圧部を前記載置台に対して開閉可能に支持する開閉部と、

前記開閉部を昇降させて前記シート押圧部を前記載置台に対して昇降させる昇降部と、

前記載置台に載置されたシートを押えるよう前記シート押圧部が閉じられる際に前記載置台に載置されたシートの高さを検出する高さ検出部と、を備え、

前記シート押圧部を閉じてシートを押える際、前記高さ検出部により検出されたシートの高さに応じた位置に前記シート押圧部を上昇させるように前記昇降部を制御することを特徴とする画像読取装置。

【請求項 2】

前記シート押圧部の開閉を検知する開閉検知部を有し、

前記高さ検出部により検出されたシートの高さに応じて前記シート押圧部を前記シートの高さに応じた位置に上昇させた後、前記シート押圧部が閉じられたことを前記開閉検知部が検知すると、シートを前記載置台に押し付けるように閉じた状態の前記シート押圧部を下降させるよう前記昇降部を制御することを特徴とする請求項 1 記載の画像読取装置。

【請求項 3】

前記高さ検出部を、前記シート押圧部の載置台側に設けられ、前記シート押圧部が閉じられる際、前記シート押圧部のシートとの接触位置を検出する接触位置検出部と、前記シート押圧部がシートと接触した際の前記シート押圧部の開閉角度を検出する開閉角度検出部とで構成し、

前記接触位置検出部により検出された前記シート押圧部とシートとの接触位置と、前記開閉角度検出部により検出されたシートと接触した際の前記シート押圧部の開閉角度に基づいてシートの高さを検出することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の画像読取装置。

【請求項 4】

前記高さ検出部は、前記シート押圧部がシートと接触したことを検出する接触検知部と、前記シート押圧部がシートと接触した際の前記シート押圧部の開閉角度を検出する開閉角度検出部とを備え、

前記接触検知部により前記シート押圧部とシートとの接触が検知された際、前記開閉角度検出部により検出されたシートと接触した際の前記シート押圧部の開閉角度に基づいてシートの高さを検出することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の画像読取装置。

【請求項 5】

前記載置台の前記シート押圧部の開閉中心側に、シートを載置する際、シートを突き当てるための部材を設けたことを特徴とする請求項 4 記載の画像読取装置。

【請求項 6】

前記シート押圧部が閉じ方向に移動する際の加速度を検知する加速度検出部を備え、前記加速度検出部により、前記接触検知部と、前記開閉角度検出部を構成することを特徴とする請求項 4 又は 5 記載の画像読取装置。

【請求項 7】

請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の画像読取装置と、前記画像読取装置により読み取られた画像をシートに形成する画像形成部と、を備えたことを特徴とする画像形成装置。